

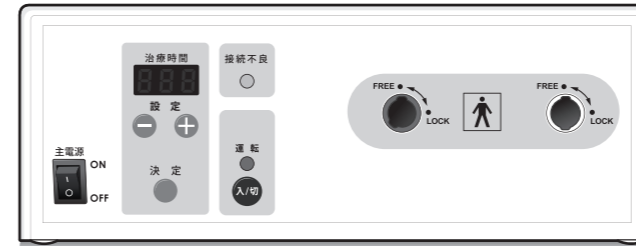
電位治療器

## レルテック MD11 (エムディー11)

医療機器認証番号

302ABBZX00089000

# 取扱説明書



## 目次

### はじめに

- 1. 正しくご使用いただくために…………… 2
- 2. 効能及び効果…………… 6
- 3. 構成…………… 6
- 4. 本体各部の名称と機能…………… 7

### ご使用前に

- 1. 導子極板についての注意事項…………… 8
- 2. 治療方法…………… 9
- 3. 導子極板AC、BDの接続……………10
- 4. スパイラルチューブの巻き方…………… 11
- 5. カバー小・特小の取付け方…………… 11
- 6. ベルトの使い方…………… 11
- 7. 電源コードおよびACアダプタの接続…………… 12
- 8. 絶縁マットを敷く…………… 13

### 導子極板のあて方例

- 1. 基本のあて方…………… 14
- 2. 効能効果別のあて方…………… 15

### 使いかた

- 操作方法…………… 18

### エネルギーチェック (ENERGY CHECK)

- 1. 用途…………… 23
- 2. エネルギーチェックの使用方法…………… 23
- 3. 次の点に注意してください…………… 24

### お手入れ

- お手入れと保管…………… 25

### トラブル対処方法

26

### 仕様

27

### その他

30

### 保証書について

保証書(3枚目)はお客様の控えです。取扱説明書と同様に大切に保管してください。

### お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入頂いた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書と同じ内容を下記に記入しておく点検、修理、消耗品の注文などを依頼されるときに便利です。

製造番号	お買い求め日	お買い求めの販売店
	年 月 日	TEL( ) —

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談はまずお買い求めの販売店へお申し付けください。または商品名、製造番号をご確認の上、下記へご連絡ください。

お問い合わせ内容	連絡先
使用方法等について	TEL: 0877-45-5333(代) FAX: 0877-45-1881
故障等について	TEL: 0877-45-3200 FAX: 0877-45-3600

● 受付時間：午前9:00～午後6:00 月曜～金曜まで（土日祝日及び弊社休日指定日を除く）

製造販売元・製造元  
**レルテック医療器株式会社**  
〒762-0025 香川県坂出市川津町3795番地1  
TEL(0877)45-5333(代) FAX(0877)45-1881  
<http://www.reltec.co.jp>

MD11 取扱説明書  
(PDF版)



MD11\_22.04 (日)  
(第2版-第1刷)


### ご使用前に必ずお読みください


このたびはレルテックMD11をご購入頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

## ■ 1. 正しくご使用いただくために


このたびは、レルテックMD11をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
レルテックMD11は、頭痛、肩こり、不眠症、慢性便秘を緩解する電位治療器です。  
尚、日本国内仕様のため、安全上及び法律により、海外ではご使用出来ません。


下記の表示が付いている文書は、この表示を無視して誤った取扱をすると、ご使用者や他の人への危害及び物的損害が想定される内容を説明しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると「人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される」内容を示しています。

下記の絵表示が付いている文書は、禁止事項や指示事項の内容を説明しています。

 **禁止** この絵表示が付いている文書は、してはいけない「禁止事項」の内容を示しています。

 **強制** この絵表示が付いている文書は、必ずしなければならない「指示事項」の内容を示しています。

使用する前に次の事項にご注意ください。

### 禁忌・禁止

以下に示す人で医師が不適当と判断した場合、使用しないでください。

1. 急性疾患のある人
2. 悪性腫瘍のある人
3. 心臓疾患のある人(心臓に障害のある人)
4. 高熱疾患のある人  
体温38℃以上(有熱期)の人  
(急性炎症症状[倦怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期にある人。衰弱している人)
5. 妊娠している人 妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
6. 安静を必要とする人
7. 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど急性(痛風性)疾患の人
8. 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
9. 皮膚知覚障害、又は皮膚に異常(感染症、創傷など)のある人
10. 低温やけどをしやすい人
11. その他重篤な人

### 併用禁忌

次のような医用電気機器や人工臓器などの併用は、影響を与える可能性があるため、使用しないでください。

1. 超短波治療器、マイクロ波治療器、電気メスなどの強力な電磁波を放出する装置、強力な磁力線を放出する装置、又はX線を放出する装置との近接した場所での操作(例えば、1m程度の距離)は、電位治療器の制御を不安定にする。
2. ペースメーカーや植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
3. 心電計などの装着形の医用電気機器
4. 人工心肺などの生命維持用医用電気機器
5. 人工中耳や人工内耳、金属製の人工心臓弁など

### 警告

1. 乳幼児、子供、自分で意思表示できない方は、おひとりでの使用はしないでください。
2. 身体に異常を感じたときには使用を直ちに中止し、医師に相談してください。
3. 導子極板が濡れているときには、使用しないでください。
4. 治療中は電撃が生じる可能性があるため、第三者又は周囲の電気機器に絶対に触れないようにしてください。又、操作者は治療中の人と機器本体に同時に触れないようにしてください。
5. 次のような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。  
付属品のベルトは天然ゴムを使用しています。天然ゴムはかゆみ、発赤、じん麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。
6. 他の機器に隣接させてまたは積み重ねて使用すると誤動作する可能性があるため、そのような使用はしないでください。
7. 電磁エミッション、電磁免疫性への適合に影響を与える可能性がある付属品として電源コード、ACアダプタ、導子極板AC、BDが該当します。
8. 弊社が提供する付属品(電源コード、ACアダプタ、導子極板AC、BD)以外を使用すると電磁エミッションが増加もしくは電磁免疫性が減少し誤動作が起きうる可能性があるため当社が提供する付属品(電源コード、ACアダプタ、導子極板AC、BD)以外には使用しないでください。
9. 携帯形のRF通信機器(アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む)は、製造業者によって規定されたケーブルを含めて、レルテックMD11のどのような部分からも30cm(12インチ)以上離して使用することが望ましい。そうでないと、この機器に性能の低下がもたらされることがあります。

## ■ 1. 正しくご使用いただくために

### ⚠ 注意



#### 分解禁止

- 本体の内部は、高電圧が発生しています。絶対にケースをあけないでください。
- 本体及び付属品の分解・修理・改造をしないでください。
- 本体及び付属品を他の用途に使用しないでください。感電などのけがや故障のおそれがあります。



#### 火気禁止

- たばこなどの火気を近づけないでください。
- 本体や付属品を暖房器具に近づけないでください。火災や故障のおそれがあります。



- 風呂場など、水分や湿気の多い場所では使用しないでください。感電などのけがや故障のおそれがあります。
- 本器及び付属品(エネルギーチェック、導子極板)を水につけて洗わないでください。液体が内部に入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグを持ってコンセントから抜いて使用しないでください。
- 濡れた手で製品を扱わないでください。感電などのけがや故障のおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

- 異常な臭い、異常な音、煙が発生する等機器の異常に気付いたときは電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて使用しないでください。
- 製品を落としたり、倒したり、強い衝撃が与えられたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて使用しないでください。  
※ 上記の場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 雷が発生しているときは、使用を中止し、電源コードのプラグを持ってコンセントから抜いてください。  
停電のときは、直ちに電源スイッチを切ってください。



#### 禁止

- 電源コード・ACアダプタは、束ねないでください。
- 電源コード・ACアダプタの上に家具などの重いものをのせないでください。
- 電源コード・ACアダプタを引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 電源コード・ACアダプタを操作できない場所に置かないでください。

### 表示マーク説明

	高電圧注意		B F 形装着部
	取扱説明書参照		交流

### ケアマーク説明

	われもの注意		天地無用
	取扱注意		積段数制限
	火気厳禁		転がし禁止
	直射日光遮へい		水濡れ注意
	温度制限		湿度制限

## 2. 効能及び効果

頭痛

不眠症

肩こり

慢性便秘

を緩解します。

## 3. 構成

※下記の内容をご確認いただき、チェック  をお付けください。



本体(1台)



取扱説明書  
(1部)



保証書  
(1部)

### 表示部

設定した治療時間が表示されます。また、終了音量および操作音量の設定時のみ音量が表示されます。( 18ページ参照)  
エラー時のエラーコードもここに表示されます。( 22ページ参照)

### 主電源スイッチ

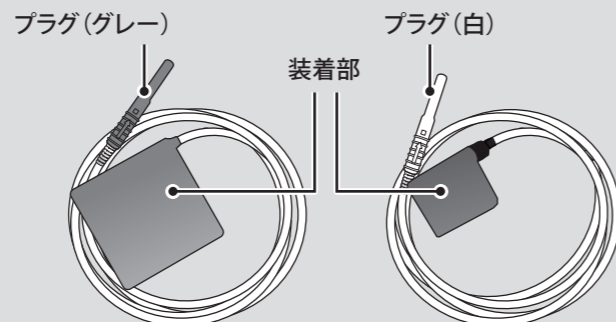
○印が「切」OFF ■印が「入」ON

## 付属品(保証対象外)

※1 フェライトコアは絶対に  
※1 外さないでください。



電源コード(1本)



導子極板AC(1本)

導子極板BD(1本)



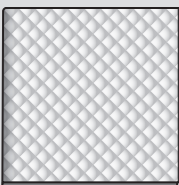
ACアダプタ(1本)



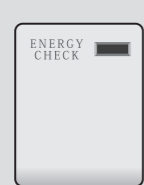
接地アダプタ  
(1個)



スパイラルチューブ  
導子極板…… 4m仕様:10本  
2.5m仕様:5本



絶縁マット  
(1枚)



エナジーチェック  
(1個)

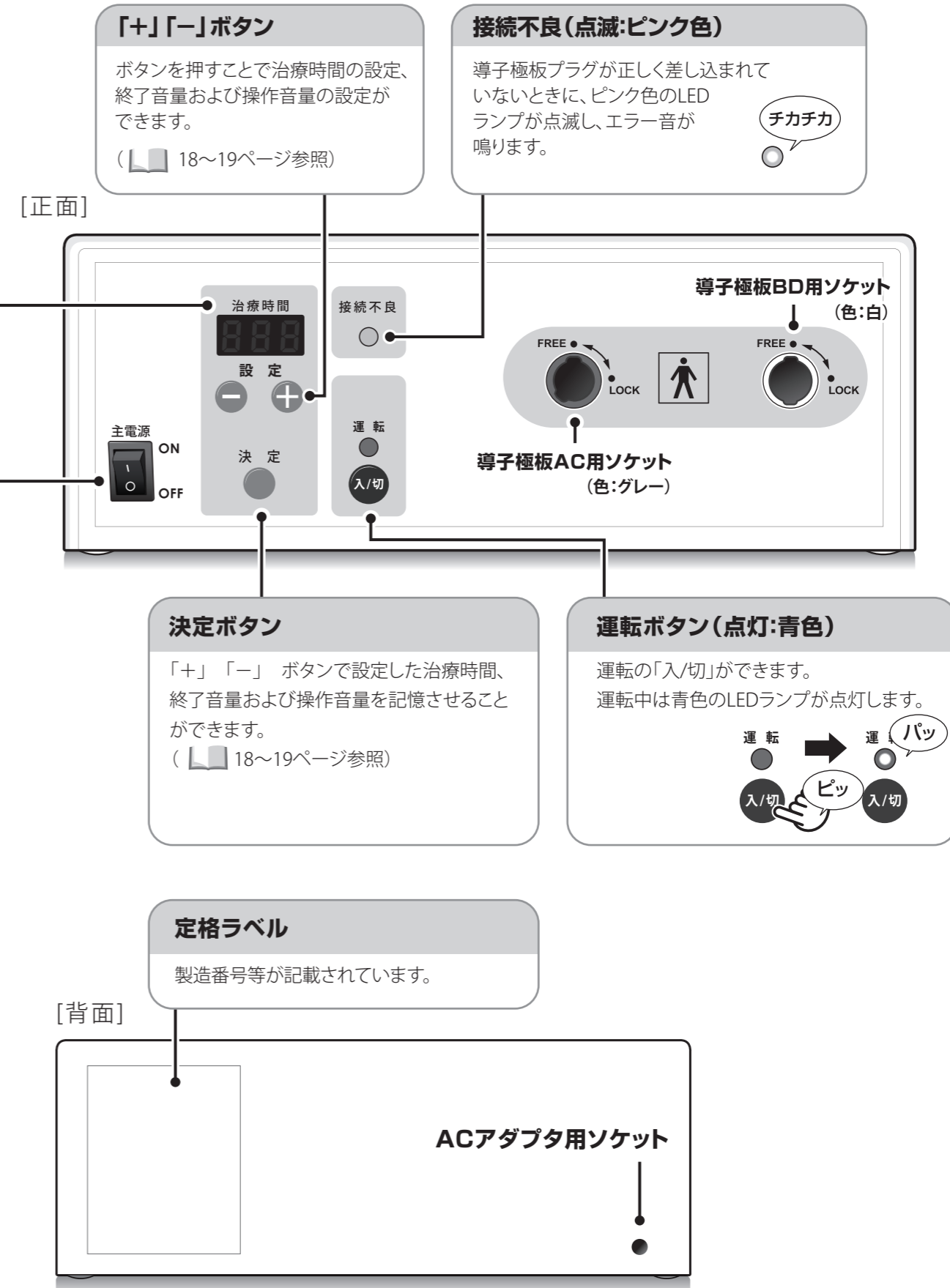


ベルト  
大……… 1本(長さ: 120cm)  
中……… 1本(長さ: 80cm)  
特小W… 1本(長さ: 30cm)

カバー小(2枚)

カバー特小(2枚)

## 4. 本体各部の名称と機能

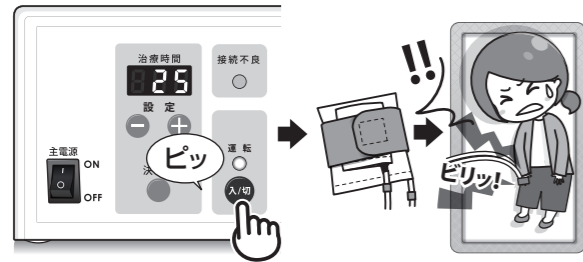


## 1. 導子極板についての注意事項

次の点に注意して正しく使用してください。

### ● 必ず導子極板を装着してから治療を開始してください。

治療を開始してから導子極板を装着すると導子極板の破損および不快な電氣的刺激(静電気のような刺激)を感じる場合があります。また、治療中に導子極板を外す場合は、治療を停止させてから行ってください。



### ● 断線の原因に…

導子極板のケーブルに無理な力が加わらないようにしてください。

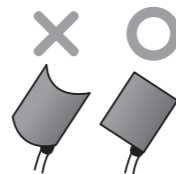
極端に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、小さく束ねたり、重いものを乗せたり挟み込んだりしないでください。ケーブルの寿命を縮め、火災、感電、事故などの原因となります。

またプラグ部分に衝撃を与えると、プラグの損傷の原因となりますのでご注意ください。



### ● 曲げ過ぎないでください。

導子極板を装着する際には、過度の締め付け等により曲げ過ぎないように固定してください。曲げ過ぎると導子極板の破損の原因になります。



### ● 金属を接触させないでください。

治療中は身体および導子極板に金属(ベッド、椅子、貴金属等)を接触させないでください。

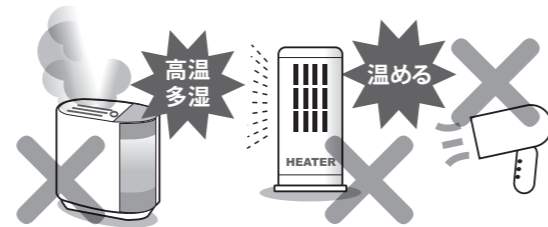
### ● 塗り薬、汗に注意!

手が汗で濡れているときや、塗り薬などが塗られているときは、必ず拭き取ってご使用ください。



### ● 高温多湿は導子極板を傷めます

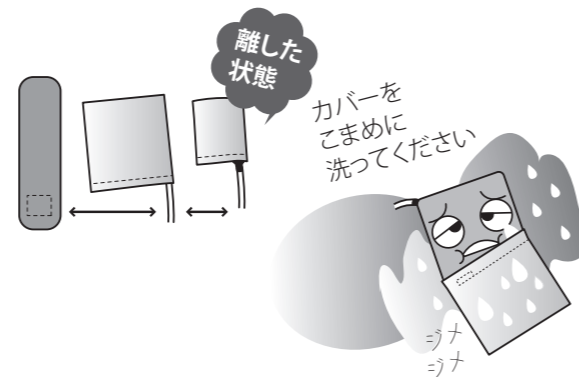
導子極板が汗で濡れていたり、湿っている場合は十分に乾燥させてからご使用ください。ただしドライヤーを使用したり、ストーブにあてるなど高温での乾燥は導子極板を傷めてしまいますので絶対にお止めください。



### ● ジメジメ注意!!

治療は各導子極板の裏表を交互に使用してください。

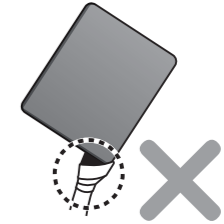
治療終了後はベルトを外し、導子極板AC、導子極板BDを離れた状態で自然乾燥させてください。また付属品のカバーは汗等の成分が付着しますのでこまめに洗ってください。



### ● 不具合が生じている場合

導子極板に損傷などの不具合が生じている場合、すぐに使用を中止してください。ご自身で修理をしたりそのまま使用すると危険ですので、お買い求めの販売店もしくは弊社までご相談ください。

悪い例) テープで補強している



## 2. 治療方法

標準的な治療例

期間	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目~
1回の治療時間(例)	約5分	→		約10分	→		約15~30分	
1日の治療回数(例)	1日1回~5回治療							

- ① 上記の表は標準的な治療の一例です。体調に合わせて期間、治療時間、治療回数を適宜、選択してください。
- ② 初めて使用されるときは、短時間(約5分)で使用し、治療回数を重ねながら少しずつ身体を慣らしてください。
- ③ 続けて使用せず、治療と治療の間は1時間以上あけてください。
- ④ 過剰使用は、一時的な身体のだるさを感じるおそれがあるため、年齢、健康状態、体調により治療時間を調節してください。
- ⑤ お子様や身体の弱い方など、年齢、体力、体重により、治療時間は20分以内にするなど、適宜、選択してください。
- ⑥ 医師の指示があるときは、医師の指示に従ってください。
- ⑦ 各導子極板の裏表を交互に使用してください。
- ⑧ 使用の途中で、他の部位または別の人に使用するときは、必ず、治療を停止してから行ってください。
- ⑨ 身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師の指示に従ってください。
- ⑩ 1ヵ月以上使用しなかったときは、使用当初と同じように、短時間(約5分)で使用し、治療回数を重ねながら、少しずつ身体を慣らしてください。

### ■ 3. 導子極板AC、BDの接続

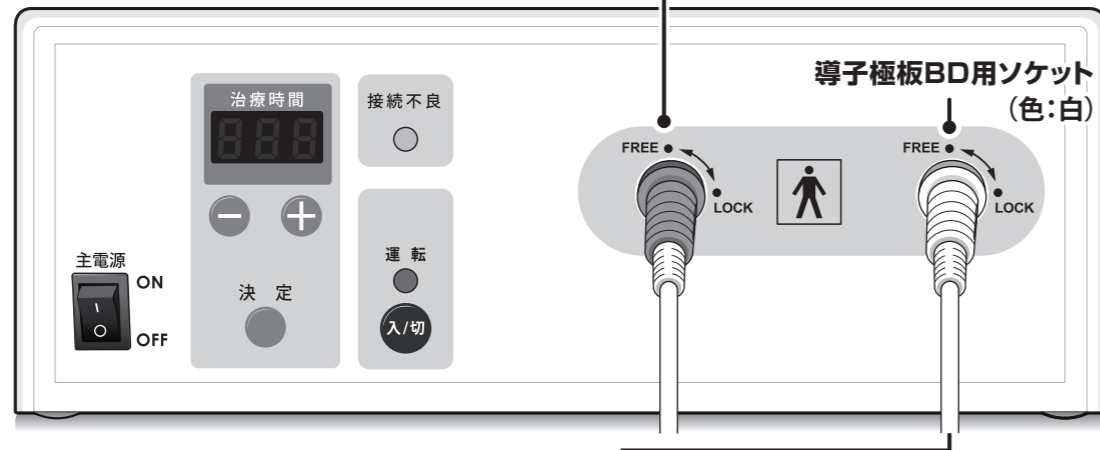
機器本体が動かないように本体を押さえながら行ってください。

**導子極板AC (色:グレー)**

導子極板ACプラグ(グレー)の↑(矢印)を上にして本体ソケット(グレー)にまっすぐ奥まで挿入し、右に90度回します。

挿入 ↑ ① 90度 ②

[差し込んだ状態の図]



**導子極板BD (色:白)**

導子極板BDプラグ(白)の↑(矢印)を上にして本体ソケット(白)にまっすぐ奥まで挿入し、右に90度回します。

※ 導子極板BDは↑(矢印)を下にしても挿入可能です。

挿入 ↑ ① 90度 ②

**⚠ 注意**

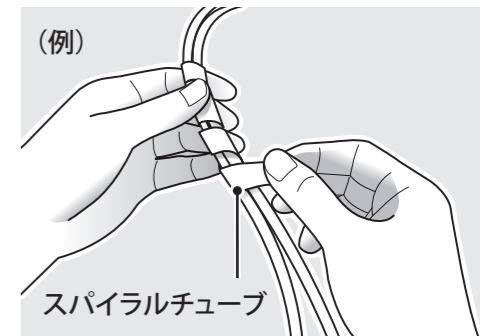
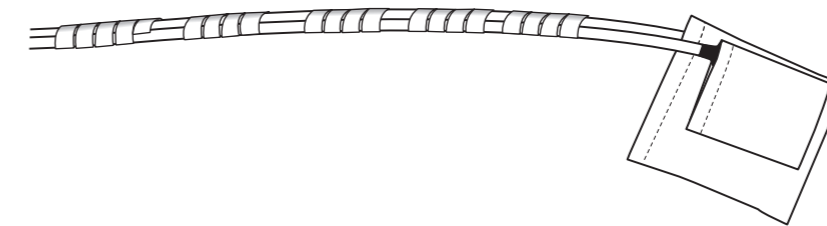
- 必ず90度回してください。  
90度回さないと固定されず、プラグが抜ける恐れがあります。
- プラグとソケットの色は、必ず合わせて挿入してください。  
ソケットの色と違う色のプラグを挿入すると、プラグが抜けなくなったり、破損する恐れがあります。

### ■ 4. スパイラルチューブの巻き方

各導子極板のケーブル同士を付属のスパイラルチューブで巻いて束ねてください。

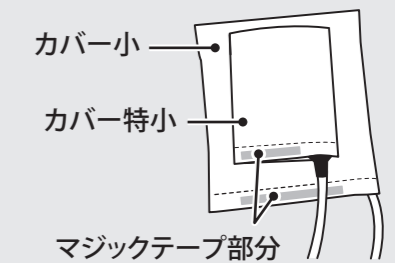
**装着例**

スパイラルチューブ 5本



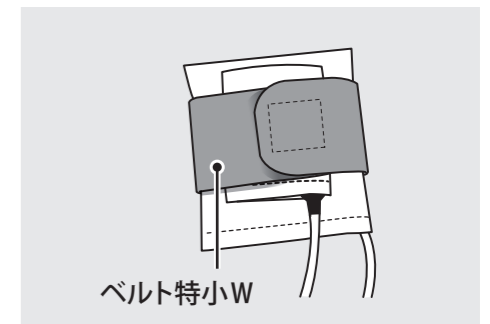
### ■ 5. カバー小・特小の取付け方

付属のカバー小・特小を極板本体に取り付けてください。袋形状カバーの一辺のマジックテープを開放して導子極板本体を挿入し、再びマジックテープを閉じます。



### ■ 6. ベルトの使い方

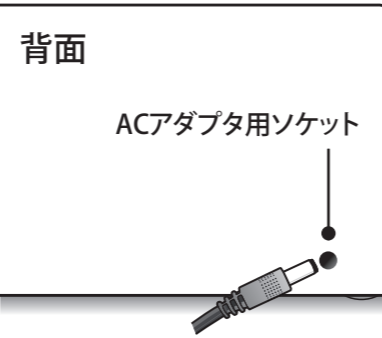
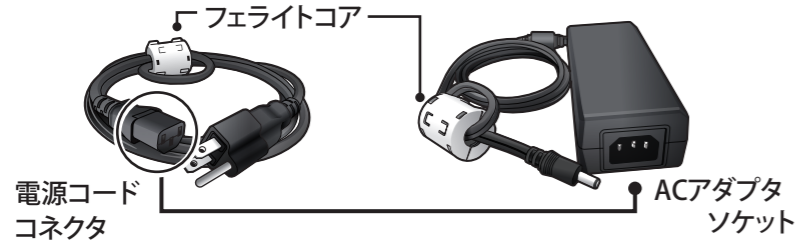
導子極板を身体に装着するための付属のベルトを用意してください。長さの異なる大・中・特小Wのベルトがあり、身体に装着しやすいように伸縮性と固定のためのマジックテープが備わっています。



## ■ 7. 電源コードおよびACアダプタの接続

ACアダプタのソケットに電源コードのコネクタを接続し、ACアダプタのプラグ部分を本体ACアダプタ用ソケットに差し込んでください。

電源コード差込口は脱落防止のため、差込口が固めに作られています。

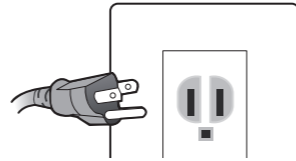


**禁止** 電源コード及びACアダプタに取付けているフェライトコアを外さないでください。外した場合、他の機器に悪影響を及ぼす恐れがあります。万が一、フェライトコアを外す等の誤使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

ご使用になるコンセントが

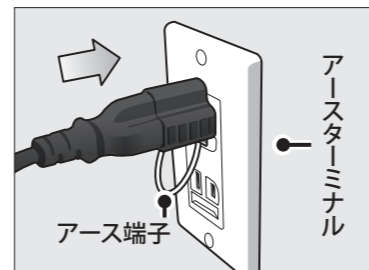
### 1) 3Pの場合

接地アダプタは不要です。



### 2) 2Pの場合

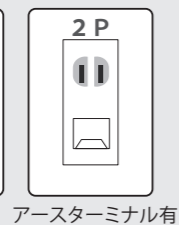
付属の接地アダプタを接続し、アース端子をアースターミナルに接続してください。



- ① 直射日光のあたらない強固で安定した平らな場所に本器を水平に置いてください。
- ② AC100Vコンセントと電源コードのプラグの接続はゆるみや外れが生じないようにしっかりと差し込んでください。

**警告** 電撃の危険を回避するために、この機器は保護接地を備えた電源だけを使用してください。

3Pコンセントの場合は接地アダプタは不要です。



### 2Pコンセントの場合

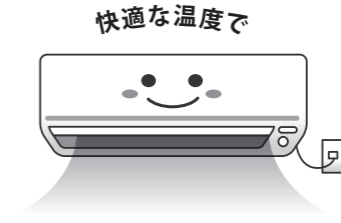
3Pプラグに付属の接地アダプタを接続し、アース端子をアースターミナルに接続してください。

※アースターミナルがない場合は販売店にご相談ください。

## ■ 8. 絶縁マットを敷く

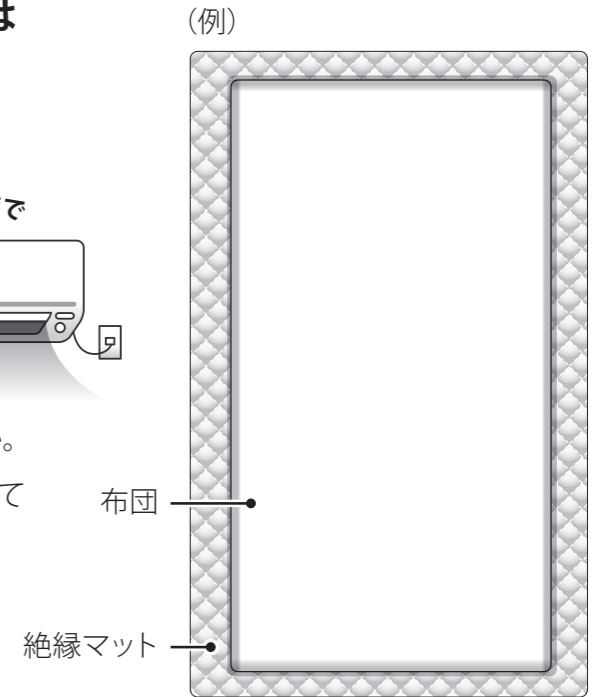
絶縁マットを治療ベッドや布団の上または下に敷いてください。

治療する部屋の室温を適温に調節してください。



### お手入れの方法

- 絶縁マットは柔らかい布で、から拭きしてください。
- 汚れが落ちにくい場合は、布に中性洗剤を含ませて拭いてください。
- 陰干しして十分に乾燥させてください。

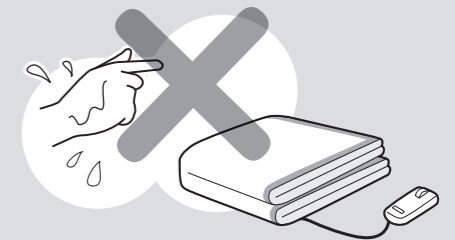


### ⚠ 注意



**禁止**

- 本体や付属品のそばに花瓶や水槽など、液体の入った容器を置かないでください。液体が内部に入ると火災や故障のおそれがあります。
- 振動の多い場所や傾斜、衝撃のある不安定な場所に置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。
- ほこり、塩分、硫黄等による悪影響のある場所に置かないでください。
- 強電磁界が発生するMRIや短波治療器、高周波メスなどの近傍での使用はしないでください。また、電磁波の発生するマイクロ波治療器からの直射照射を受ける場所に置かないでください。
- 他の電気製品の近くに置かないでください。
- 機器の上に物を置かないでください。
- 感電や故障の恐れがありますので濡れた手で使用しないでください。
- 他の治療器および電気毛布や電気あんかなどの電気製品との同時使用はしないでください。
- 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。
- 各導子極板プラグの本体差込口のソケットに金属棒などを挿入しないでください。
- 使用中及び保管時にケーブルに損傷を与えないようにしてください。

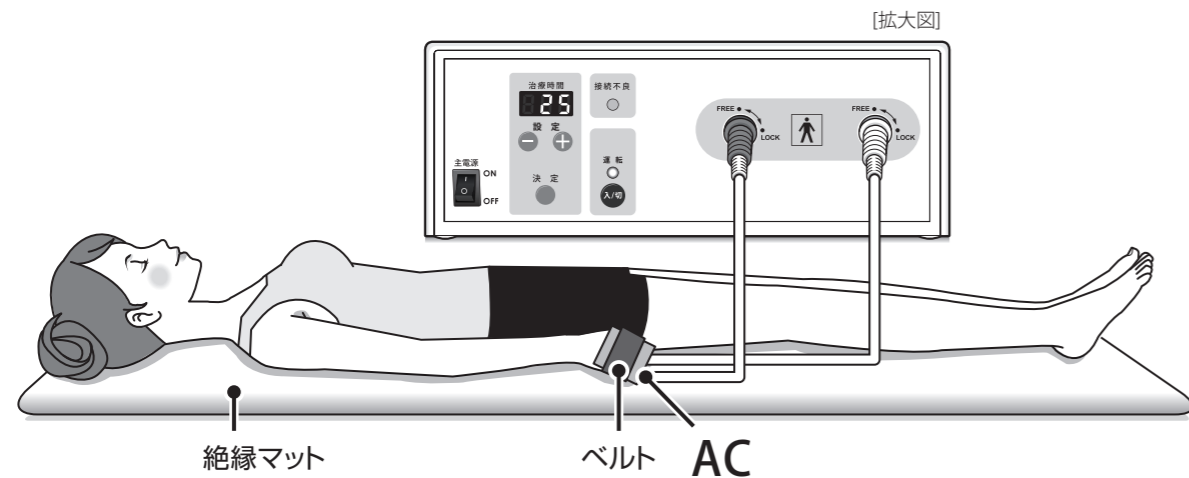


# 導子極板のあて方例

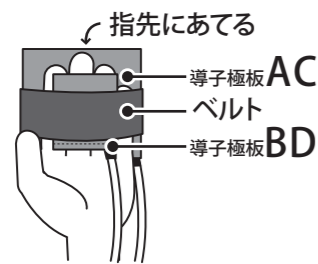
治療を開始する前に、必ず導子極板ACと導子極板BDを付属のベルトで適切に装着してください。

## 1. 基本のあて方 手背に導子極板AC、手掌に導子極板BDをあてた状態。

頭痛 肩こり 不眠症 慢性便秘 すべてに該当



### 手の装着方法



- 導子極板ACと導子極板BDがお互いに触れないようにあててください。

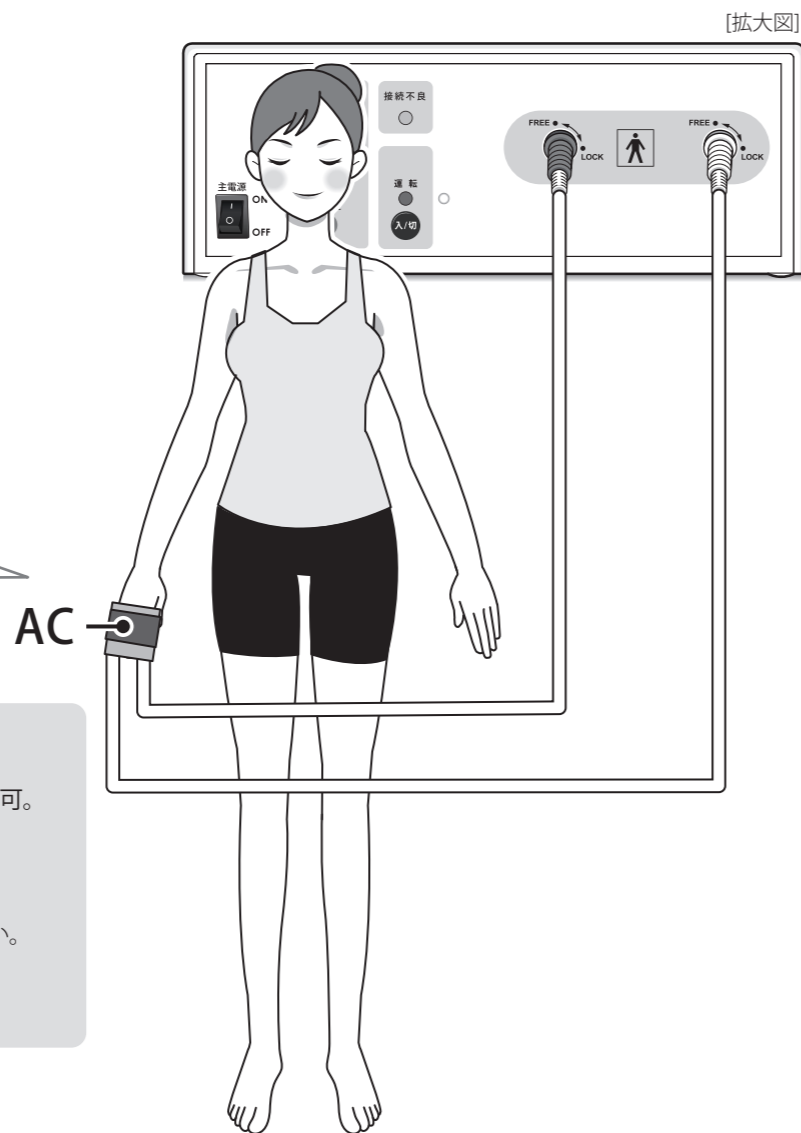


### 逆でもOK

手掌に導子極板AC、手背に導子極板BDでも可。

- 仰向けになって治療してください。
- 手は左右どちらにあててもかまいません。
- 治療と治療の間は1時間以上あけてください。

絵はイメージ図のため色、形状等異なります。



## 2. 効能効果別のあて方

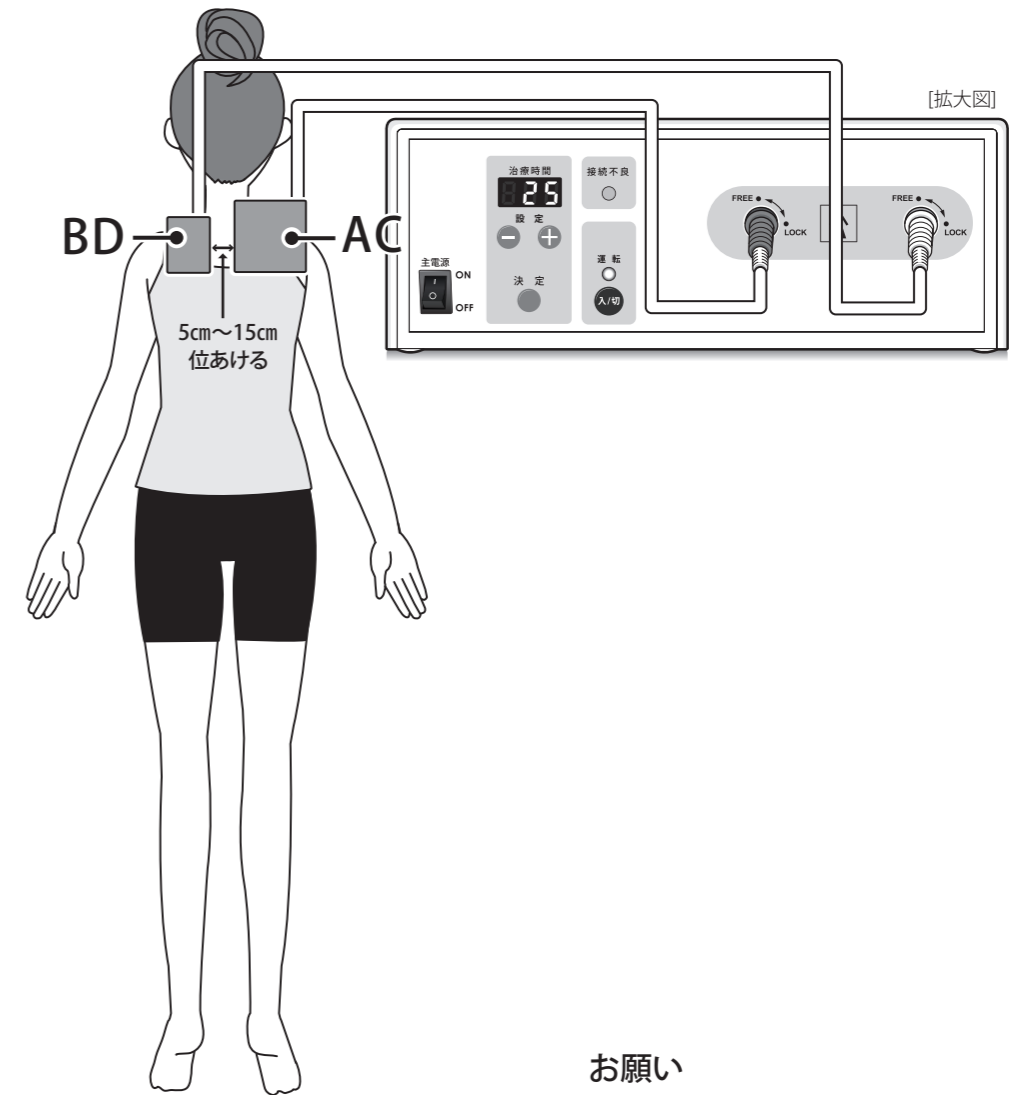
### 頭痛、不眠症のあて方

基本のあて方  
(14ページ)

または 後頸部

#### ● 後頸部

首の後ろ側の付け根に導子極板ACをあて、導子極板同士が触れ合わないよう  
に5cm~15cm位あけて、導子極板BDを並べてください。  
(身体の重みを利用して導子極板を固定してください。)



### お願い

- 仰向けになって治療してください。
  - 治療と治療の間は1時間以上あけてください。
- 絵はイメージ図のため色、形状等異なります。



# 導子極板のあて方例

治療を開始する前に、必ず導子極板ACと導子極板BDを付属のベルトで適切に装着してください。

## ■ 2. 効能効果別のあて方

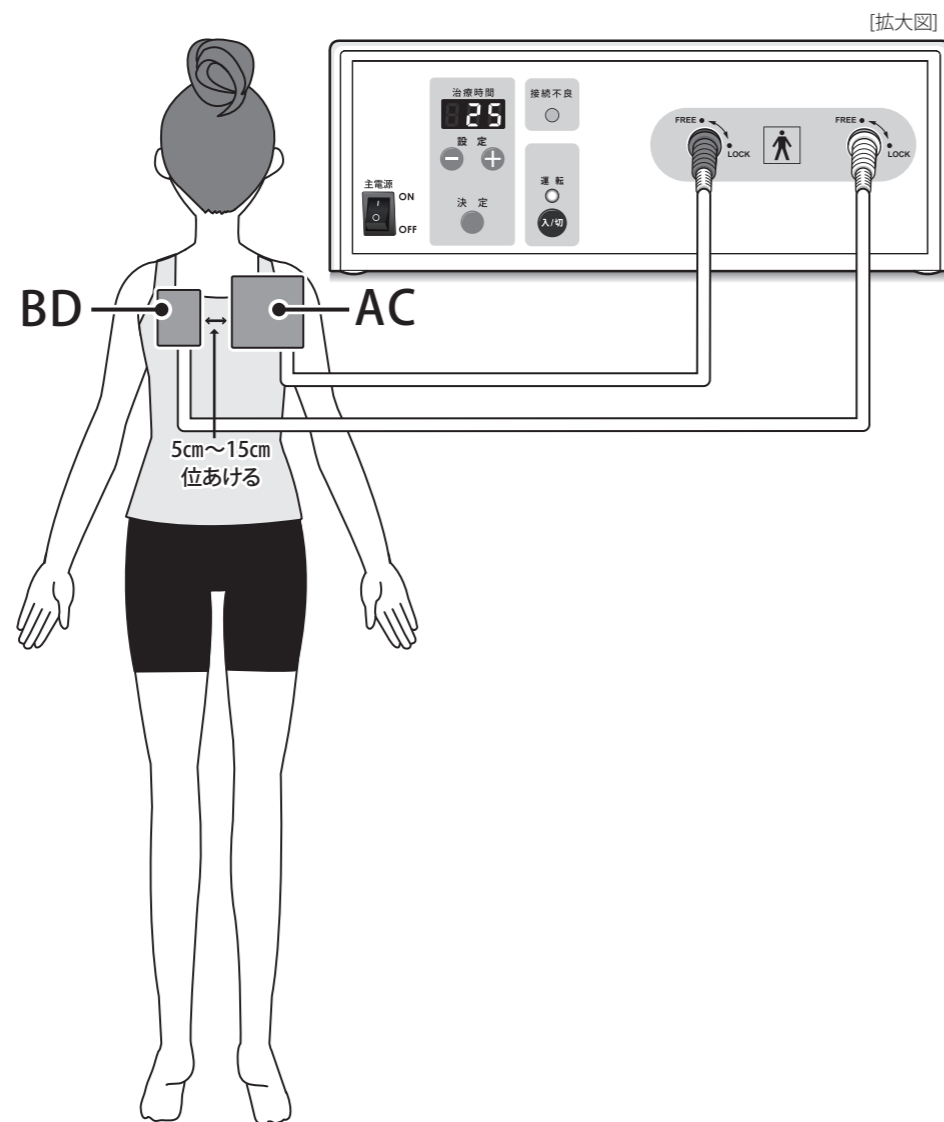
### 肩こりのあて方

基本のあて方 (14ページ) または 肩

#### ● 肩

肩こりのある部位に導子極板ACをあて、導子極板同士が触れ合わないよう5cm~15cm位あけて導子極板BDを並べてください。

(身体の重みを利用して導子極板を固定してください。)



#### お願い

- 仰向けになって治療してください。
  - 治療と治療の間は1時間以上あけてください。
- 絵はイメージ図のため色、形状等異なります。

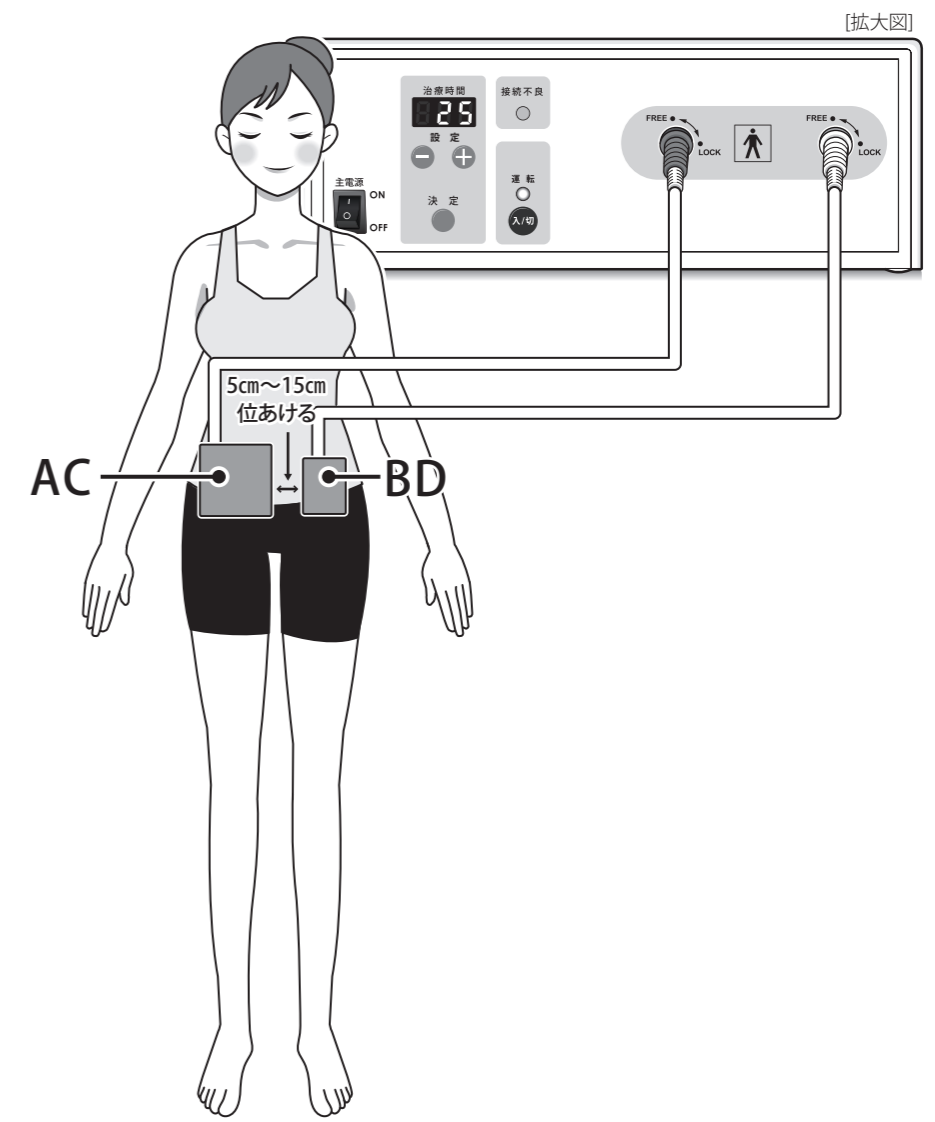
### 慢性便秘のあて方

基本のあて方 (14ページ) または 下腹部

#### ● 下腹部

下腹部には、導子極板ACの横に導子極板同士が触れ合わないよう5cm~15cm位あけて導子極板BDを並べてください。

(付属のベルトを利用して極板を固定してください。)

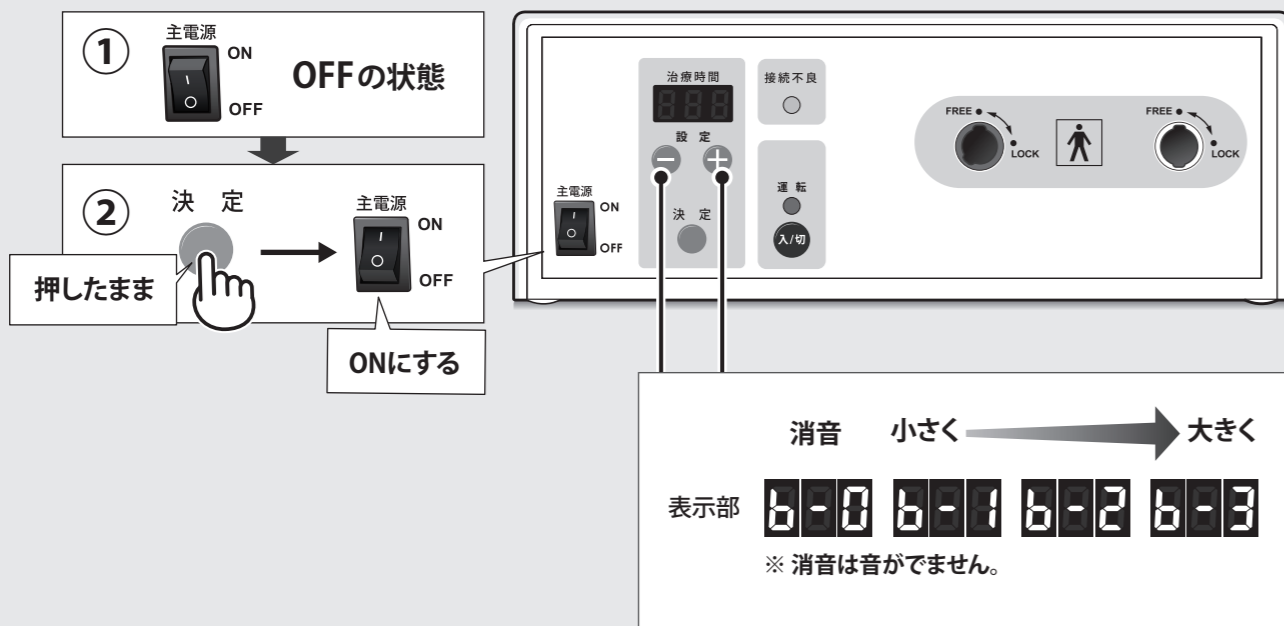


#### お願い

- 仰向けになって治療してください。
  - 治療と治療の間は1時間以上あけてください。
- 絵はイメージ図のため色、形状等異なります。

## ■ 操作方法

### [最初の設定] 終了音量および操作音量を設定する

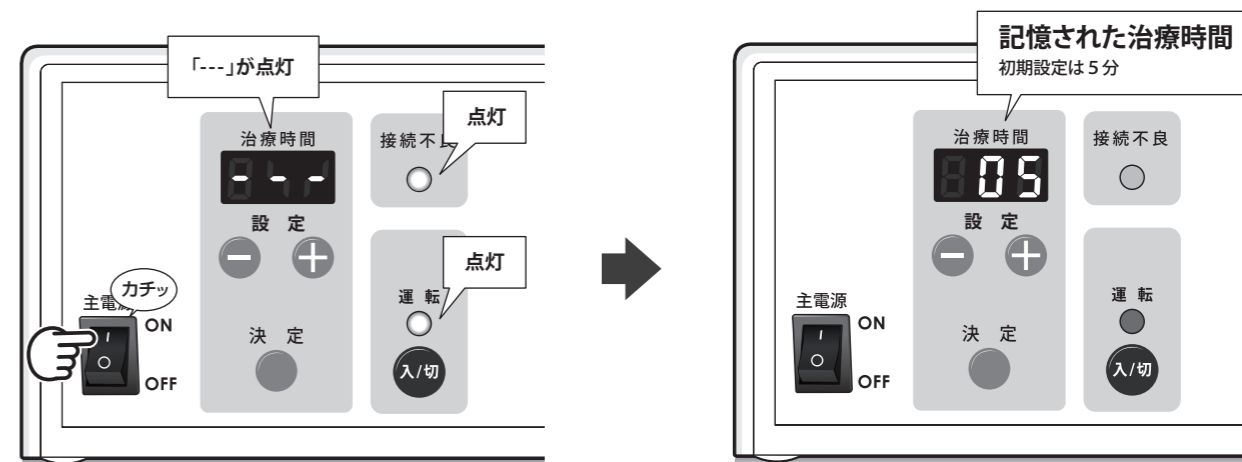


- 1) 電源をOFFの状態にして、決定ボタンを押したまま主電源スイッチをONにします。表示部に設定された音量が表示されます。(初期設定値は「b-2」)  
決定ボタンは、音量が表示されてから手を離してください。  
(早く離すと音量が表示されない場合があります。)
- 2) +ボタンで音量を大きく、-ボタンで音量を小さくできます。  
音量は4段階あります。
- 3) 決定ボタンを押して、設定した音量を記憶させます。

音量を「b-0」(消音)に設定していても、接続不良のエラー時には音が鳴ります。

## 1 電源を入れる

導子極板を接続し、本体前面にある主電源スイッチを押して「ON」にしてください。  
すべてのLEDおよび表示部に「---」が点灯した後、記憶された治療時間が表示されます。

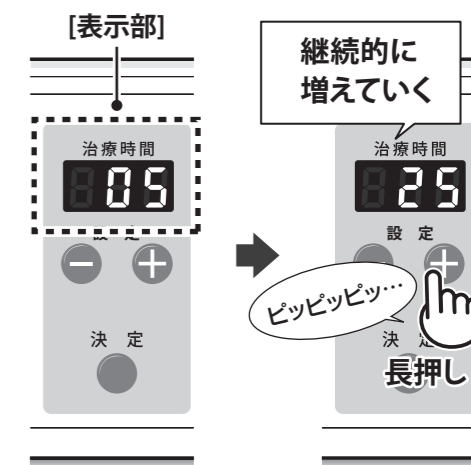


### ⚠ 注意

電源の「ON」「OFF」を繰り返して速く行くと電圧が不安定な状態となるため、記憶されたデータが消えてしまう恐れがありますのでご注意ください。

## 2 治療時間設定をする

+ボタンで治療時間を設定します。  
1~99分まで設定可能です。  
0分は設定できません。  
ボタンの長押しで数字の増減が継続的にできます。  
表示部に治療時間が表示されます。



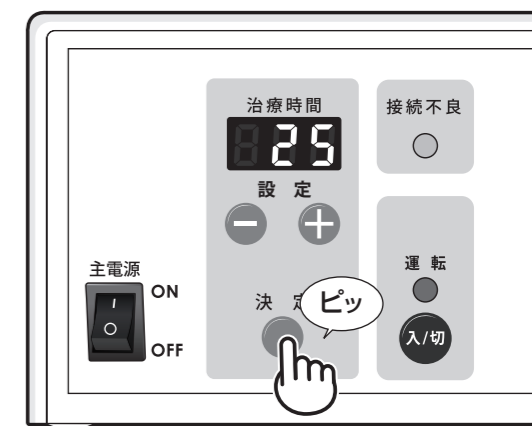
## 3 設定内容を記憶させる

決定ボタンを押すと、治療時間を記憶させることができます。

### ⚠ 注意

決定ボタンを押さずに運転を開始することもできますが、設定した治療時間は次回治療時に記憶されません。

[例: 25分設定の場合]

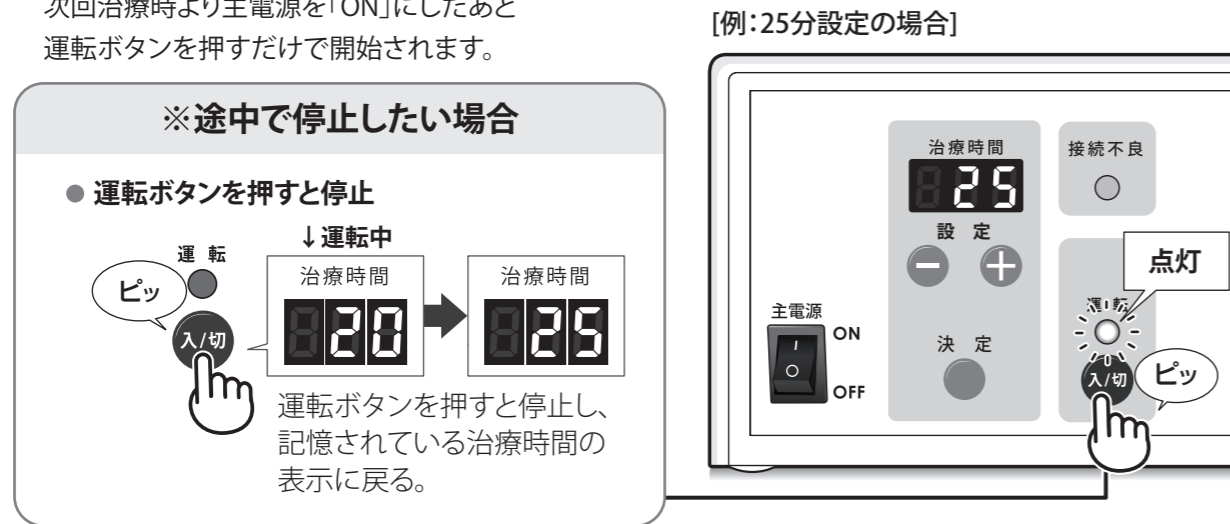


## ■ 操作方法(つづき)

### 4 治療を開始する

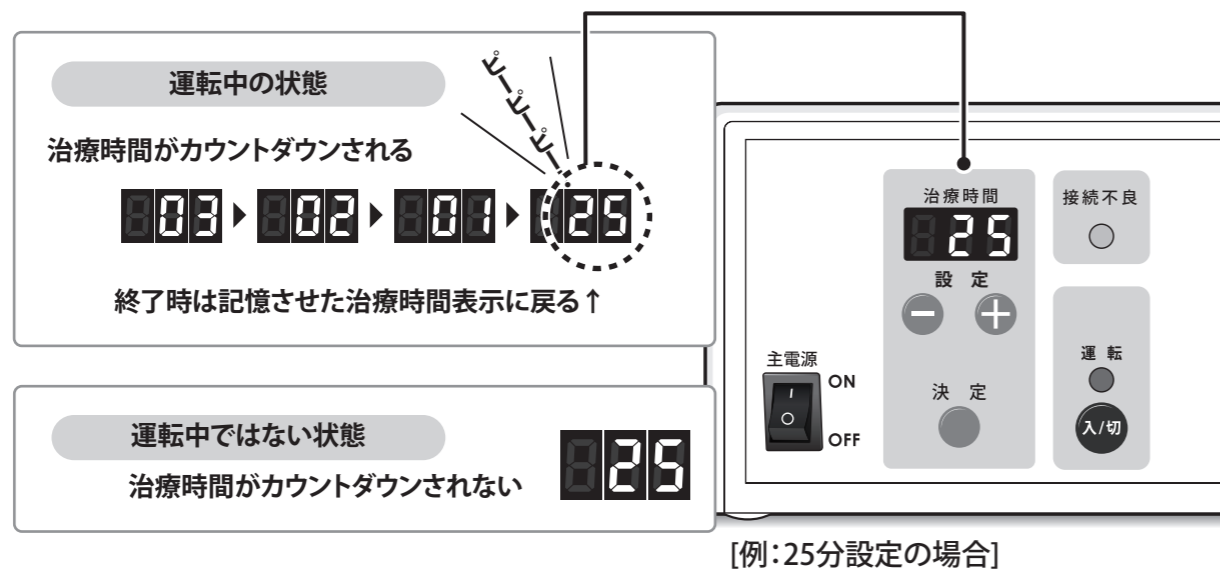
運転ボタンを押すとボタン上部の青色のLEDが点灯し、治療が開始されます。  
表示部に表示された治療時間がカウントダウンされます。  
運転中に運転ボタンを押すと治療が停止されます。

※ 記憶させた治療時間で治療する場合は、  
次回治療時より主電源を「ON」にしたあと  
運転ボタンを押すだけで開始されます。



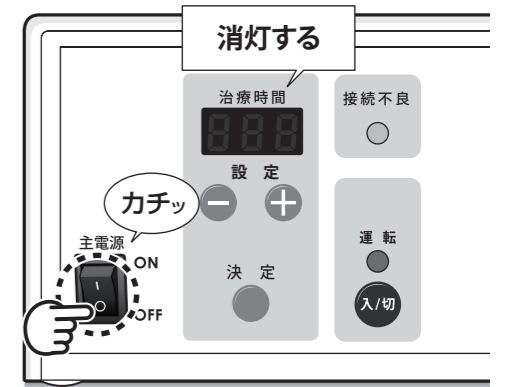
### 5 治療終了

治療が終了すると終了音が鳴り、運転を停止します。  
表示部は記憶させた治療時間表示に戻ります。



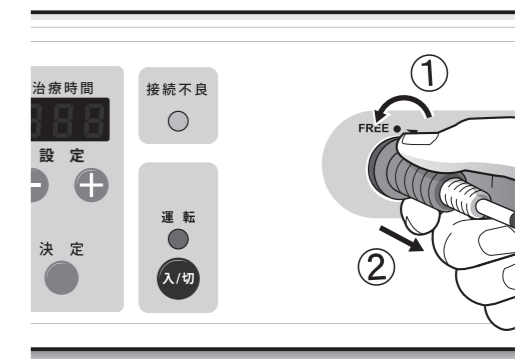
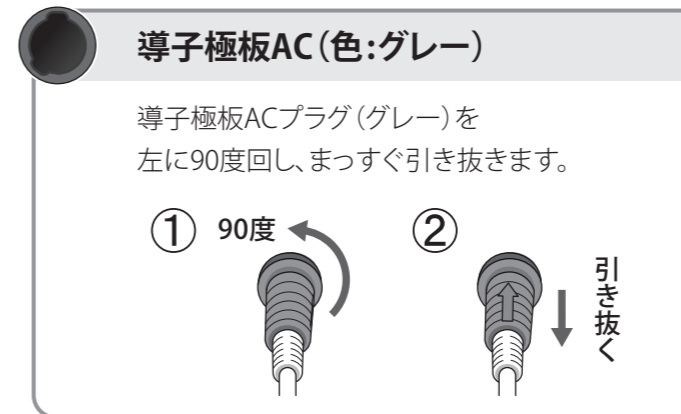
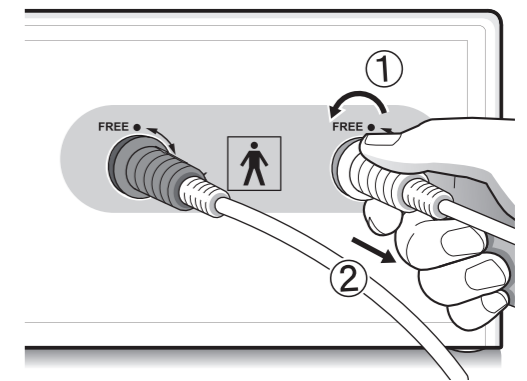
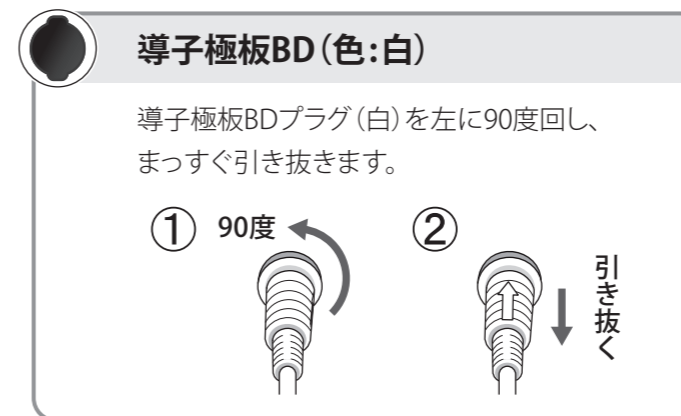
### 6 使用後の注意事項

使用後は、本体前面の電源スイッチを「OFF」にしてください。



### 導子極板AC、BDを取り外す場合

機器本体が動かないように本体を押さえながら行ってください。



#### ⚠ 注意

付属品などは、次の使用に支障がないように清潔にし、湿気の少ない所に整理して置いてください。

- 治療終了後はベルトを外し、導子極板AC、導子極板BDを離れた状態で自然乾燥させてください。
- 付属のカバーは汗等の成分が付着しますのでこまめに洗ってください。

本体を移動するときは、本体からACアダプタ、電源コード及び各導子極板を外してください。  
また、本体を誤って落とさないように両手でしっかり持ってください。

本体を誤って落としたときは、必ず販売店に連絡し、点検を受けてください。

- 外観上異常がなく、その直後に正常に作動したとしても、後で故障や事故につながるおそれがあります。

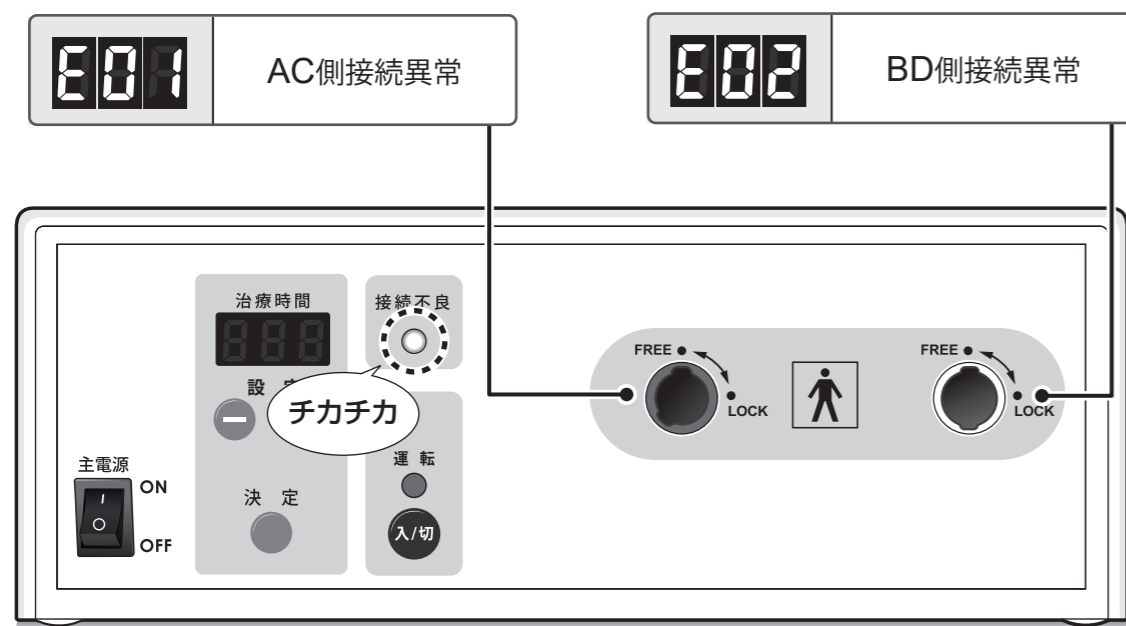


## ■ 操作方法(つづき)

### 本体のトラブル表示

導子極板のプラグが正しく接続されていないまま運転を開始したり運転中にプラグが外れると、運転が停止しエラー音が断続的に鳴って接続不良のピンク色のLEDが点滅します。

表示部に、エラーコードが表示されます。



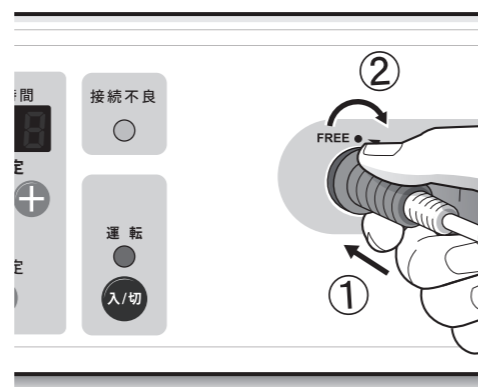
### 導子極板を確実に差し込んでください。

エラーコードにより差込不良箇所を確認し、確実に差し込んでください。

両側に差込不良がある場合は、エラーコードが表示された側のエラーを解除すると、もう片方のエラーコードが表示されます。

エラーがなくなりますと接続不良ランプが消灯し、エラーが解除されます。

運転中のエラーの場合は、再度運転ボタンを押すと、治療を停止した時間から再開されます。



# エネルギーチェック (ENERGY CHECK)

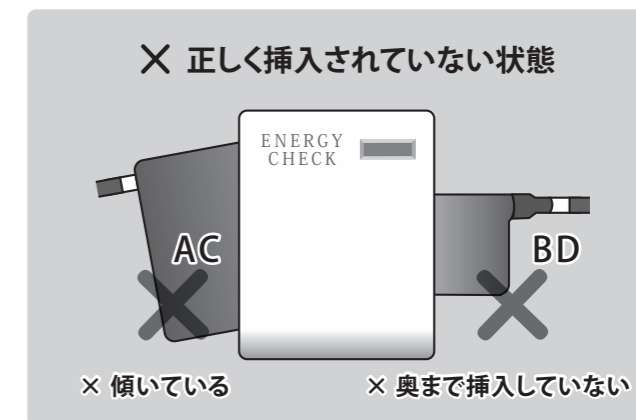
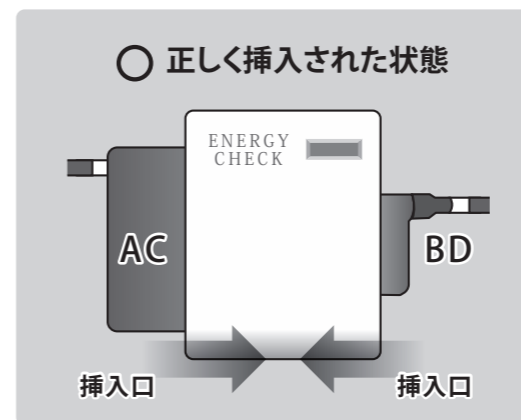
## 1. 用途

エネルギーチェックは、レルテックMD11の使用前の点検に用いる検査機器です。

（エネルギーチェックは、本体からの出力有無や導子極板ケーブルの導通有無を確認するものです。導子極板の消耗・劣化状態を確認するものではありません。導子極板から聞こえる音の大きさは、環境等により異なりますので出力の判断基準にはなりません。）

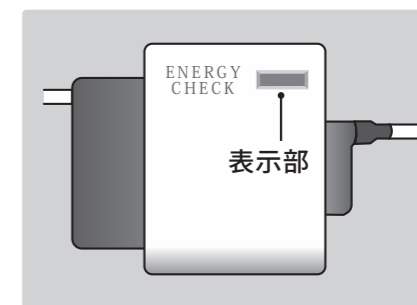
## 2. エネルギーチェックの使用方法

1 エネルギーチェックを水平な場所に置き、カバーを外した導子極板AC、BDを各挿入口に奥まで挿入します。



2 奥まで挿入した時、表示部が消えている事を確認します。

導子極板に電位が帯電している時、運転状態前に表示部が点灯することがあります。その場合、表示部が完全に消えてから点検してください。また何度も続けて点検した場合、電位差が飽和状態となりOKが表示なくなります。しばらく時間をおいて点検してください。

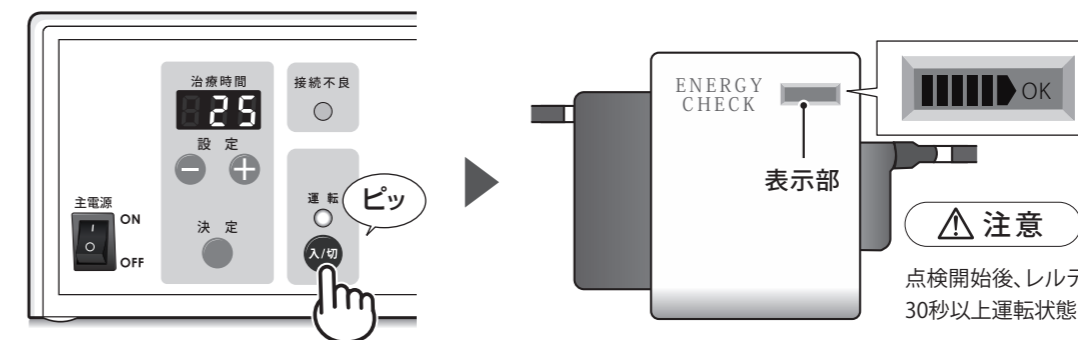


3 レルテックMD11を運転状態にします。異常がなければ「OK」表示が点灯します。

点検中は導子極板AC、BDの装着部に触れないようにしてください。

いずれの治療時間を選択してもかまいません。

- **反応した状態**  
一瞬でも表示されれば正常です。
- × **反応していない状態**  
お買い求めの販売店までご連絡をお願いします。
- × **かすれた状態**  
もう一度最初の手順に従ってください。

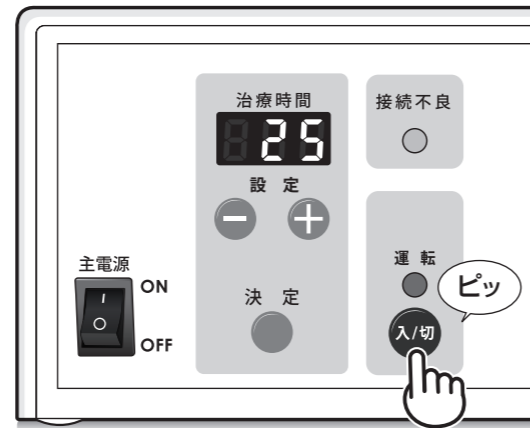


# エネルギーチェック (ENERGY CHECK)

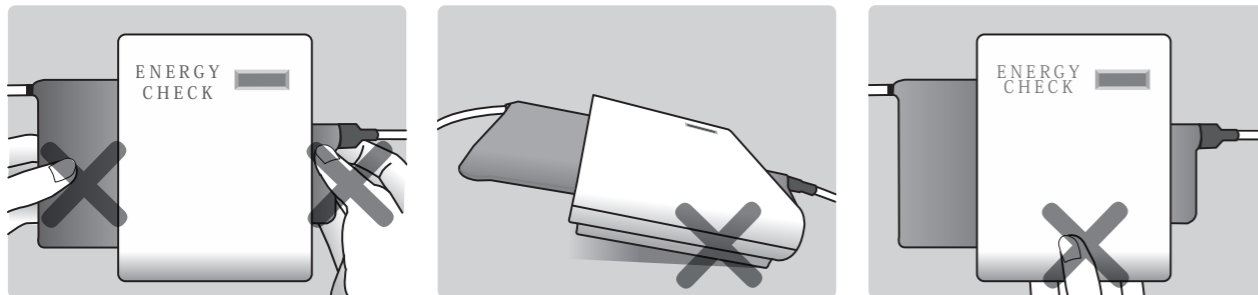
## 2. エネルギーチェックの使用方法 (つづき)

- 4 運転(入/切)ボタンを押してレルテックMD11の運転を停止し、導子極板AC、BDを挿入口より抜き取ります。

エネルギーチェックの表示部に「OK」表示が点灯されない場合は、レルテックMD11のご使用を中断し、お買い求めの販売代理店までご連絡をお願いします。



## 3. 次の点にご注意ください



× 手で導子極板の装着部を触っている

× 不安定な設置をしている



注意

- 幼児の手の届かない所に保存してください。
- 風呂場など、水のかかる所に置かないでください。
- 高い所から落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- 改造又は、分解しないでください。
- 用途以外に使用しないでください。
- 直射日光、高温または多湿の所に置かないでください。

※エネルギーチェックは保証対象外とさせていただきます。

# お手入れ

## ■ お手入れと保管

### 1. 消耗品の交換 (保証対象外)

- 導子極板は消耗品です。
- 治療による効能や効果を十分に維持するために、導子極板ACは1年毎の交換をおすすめします。
- 断線・破損した導子極板BDを使用すると、感電や電撃を受ける恐れがありますので、導子極板BDは1~2年毎の点検をおすすめします。
- A Cアダプタ、電源コードや各導子極板に損傷などが生じているときは、そのまま使用すると危険です。新しいものに交換してください。
- 各導子極板は長年使用するとケーブルの断線などで火傷や感電、火災などの事故のおそれがあります。

### 2. 保管方法

- 本体および付属品は、次の使用に支障がないように清潔にし、また、付属のカバー等は洗濯をし、湿気の少ない場所に整理して保管してください。  
しばらく使用しなかった機器を使用するときは、各導子極板を本体に接続して電源スイッチ、操作ボタンが正常にかつ安全に作動することをエネルギーチェックで確認してください。
- 長期間使用されず、再び使用するときは、お買い求めの販売店にご連絡の上、点検を受けてください。
- 埃、虫等が入らないようにしてください。
- 火気及び熱源の近くで保管しないでください。
- 不安定な場所で保管しないでください。
- 直射日光のあたる場所で保管しないでください。
- 小児の手の届かないところに保管してください。
- コンセントと電源コードプラグ間の埃を取りのぞいてください。

### 3. 治療器の廃棄または譲渡等

- 治療器の廃棄または譲渡等を希望される場合は、安全上及び法律により、お買い求めの販売店にご連絡ください。

# トラブル対処方法

## 故障かなと思ったとき

状況	チェック	対策
電源スイッチを入れても電源が入らない。 表示部が点灯しない。	電源コード及びACアダプタは正しく接続されていますか？	ACアダプタのプラグを本体後面のACアダプタ用ソケットに差し込んでください。
		電源コードのコネクタをACアダプタのソケットに差し込んでください。
		電源コードのプラグをコンセント(交流100V)に差し込んでください。
エラー表示がでる。	導子極板のプラグがソケットに正しく接続されていますか？	導子極板のプラグを導子極板用ソケットに差し込んでください。(P10)
ボタンを押しても、操作音が鳴らない。	音量の設定が「b-0」になっていませんか？	音量の設定を「b-1」～「b-3」で設定してください。(P18)
治療終了後、終了音が鳴らない。	音量の設定が「b-0」になっていませんか？	音量の設定を「b-1」～「b-3」で設定してください。(P18)
エネルギーチェックでの導子極板の点検時、「OK」が表示されない。	導子極板の装着部を手で触れていませんか？	導子極板をエネルギーチェックに挿入後、手を導子極板の装着部から離して点検してください。
	表示時間が短いため、見逃していませんか？	もう一度、点検してください。 一瞬でも表示されれば正常です。
	運転状態になっていますか？	運転状態になっていない場合、運転ボタンを押してください。
	水平な場所で導子極板がエネルギーチェックの挿入口にきちんと入っていますか？	水平な場所で導子極板を挿入口に適切に入れて、再度点検してください。
	何度も続けて点検していませんか？	しばらく時間をおいて再点検してください。

※対策実施後、状況が改善されなければ本体の故障です。販売店に修理を依頼してください。

## その他の質問事項

状況	回答
導子極板からの音が小さい。	導子極板から聞こえる音については、極板内の隙間を通る放電音ですので、環境、導子極板の消耗等さまざまな要因によって大きさは違ってきます。 尚、導子極板から聞こえる音の大きさは、環境等により異なりますので出力の判断基準にはなりません。
エネルギーチェックの表示時間が短い。	エネルギーチェックの表示は電位差により帯電させることで表示させておりますが、音と同様にさまざまな要因によって表示時間が異なる場合があります。 またエネルギーチェックの表示部は、長時間帯電させると壊れることがあり、強制的に放電させるようにしておりますので、チェックしている間表示し続けるものではありません。 従いまして、導子極板から聞こえる音の大きさ及びエネルギーチェックの表示時間の長さが判断基準ではなく、エネルギーチェックに反応しているかどうかで出力の有無の判断基準となります。

# 仕様

※掲載した製品の仕様や外観は改良等の理由により、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

一般的名称	電位治療器	外郭保護分類	IPX0	
機器の分類	管理医療機器(特定保守管理医療機器)	作動モード	連続運転	
販売名	レルテックMD11	医療機器認証番号	302ABBZX00089000	
型式	MD11	使用・保管環境	使用温度	10～39℃
外形寸法	300(W)×110(H)×280(D)(mm)		使用湿度	30～85%RH(結露なきこと)
定格電圧	100-240V～(日本国内での使用の場合、AC100Vに限定)		輸送・保管温度	0～50℃
定格周波数	50-60Hz		輸送・保管湿度	10～90%RH(結露なきこと)
電源入力	50VA	付属品	導子極板AC(2.5m/4m)……………1本	
重量	約1.8kg(治療器本体)		導子極板BD(2.5m/4m)……………1本	
治療時間	任意設定(1分～99分)		カバー小……………2枚	
出力電圧	直流 -5500±500V		カバー特小……………2枚	
基本性能	本製品の基本性能は「出力電圧DC-5500V±500V」です。電磁妨害により基本性能が喪失又は低下した場合、表示部が点滅したり、操作不能になることがあります。その際は、機器本体の電源を切り、治療を中止してください。		ベルト特小W(長さ30cm)……………1本	
			ベルト中(長さ80cm)……………1本	
出力数	1パターン		ベルト大(長さ120cm)……………1本	
安全装置	・導子極板プラグが抜けた時、運転の自動停止 ・導子極板プラグが正常に挿入されていない時、運転しない ・過電流保護 出力部に保護抵抗を直列接続して電流の流れを制限		ACアダプタ(1.25m)……………1本	
			電源コード(2m)……………1本	
電撃保護分類	クラス I 機器		接地アダプタ……………1個	
電撃保護の程度	B F 形装着部	取扱説明書……………1部		
		絶縁マット(90cm×190cm)……………1枚		
		エネルギーチェック……………1個		
		スパイラルチューブ(2.5m/4m)……………5本/10本		

## ユーザプロフィール

操作者	医師、看護師、理学療法士、作業療法士	患者	
性別	男女	年齢	3歳以上
年齢	20歳以上	体重	10kg以上
資格	医師免許、看護師免許、理学療法士免許、作業療法士免許	治療部位	手、足、肩、後頸部、下腹部
使用頻度	30分/回 数回/日	使用場所	専門の医療用施設内
言語	日本語		
知識	11歳以上で5年以上の学校教育を受けたもの		

## 電磁エミッション

レルテックMD11は、次に指定した電磁環境内で使用を意図している。

レルテックMD11の顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

エミッション試験	適合性	電磁環境－ガイダンス
放射妨害電界強度 CISPR11	グループ1	レルテックMD11は、内部機器のためだけにRFエネルギーを用いている。したがって、そのRFエミッションは、非常に低く、近隣の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
端子妨害電圧 CISPR11	クラスA	レルテックMD11は、住宅環境を除く全ての施設での使用に適している。次の警告に留意することを条件として、住宅環境及び住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続して用いてよい。
高調波電流 IEC 61000-3-2	対象外	<b>警告</b> レルテックMD11のエミッション特性により、工業領域及び病院での使用に適したものとなる(CISPR11クラスA)。住宅環境に使用される場合(この場合、通常、CISPR11クラスBが要求される)、レルテックMD11は無線周波通信サービスに対して十分な保護を提供しないこともある。
電圧変動/フリッカ IEC 61000-3-3	適合	使用者は、レルテックMD11を再配置するか又は再方向付けするなどの緩和手段をとる必要がある場合がある。

# 仕様

## 電磁免疫

レルテックMD11は、次に指定した電磁環境内で使用を意図している。

レルテックMD11の顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	試験レベル	適合レベル	電磁環境－ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	接触: ±8 kV 気中: ±2, 4, 8, 15 kV	接触: ±8 kV 気中: ±2, 4, 8, 15 kV	床は木材、コンクリート又はセラミックタイルであることが望ましい。 床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも30%であることが望ましい。
電氣的ファストトランジェント/バースト IEC 61000-4-4	電源ライン: ±2 kV 繰返し周波数 100kHz	電源ライン: ±2 kV 繰返し周波数 100kHz	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
雷サージ IEC61000-4-5	ライン-ライン間: ±0.5 kV及び± 1 kV ライン-接地間: ±0.5kV, ±1kV及び±2kV	ライン-ライン間: ±0.5 kV及び± 1 kV ライン-接地間: ±0.5kV, ±1kV及び±2kV	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
電源周波数磁界 IEC61000-4-8	30A/m (50 or 60Hz)	30A/m (50Hz)	画像にひずみが生じた場合、電源周波数磁界の発生源から離して配置するか、又は磁気シールドを施す必要があるかもしれない。 電源周波数磁界は、意図する設置場所において十分に低い値であることを確認できるような測定できることが望ましい。
電圧ディップ/短時間停電および電圧変動 IEC61000-4-11	0%UT: 0.5サイクル間 0°, 45°, 90°, 135°, 180°, 225°, 270°及び315°で 0%UT: 1サイクル及び 70%UT: 25/30サイクル 単相: 0°で	0%UT: 0.5サイクル間 0°, 45°, 90°, 135°, 180°, 225°, 270°及び315°で 0%UT: 1サイクル及び 70%UT: 25/30サイクル 単相: 0°で	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。 レルテックMD11の使用者が電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合には、レルテックMD11を無停電電源又は電池から電力供給することを推奨する。

## 電磁免疫- 非生命維持装置機器及びシステムに関して

レルテックMD11は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。

レルテックMD11の顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	試験レベル	適合レベル	電磁環境－ガイダンス
伝導イミュニティ IEC 61000-4-6	3V/m 150kHz～ 80MHz  6V/m 150kHz～80MHzの 間のISM帯域	3V/m 150kHz～ 80MHz  6V/m 150kHz～80MHzの 間のISM帯域	携帯型及び移動型RF通信機器は、ケーブルを含むレルテックMD11のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。  <b>イミュニティ試験レベル</b> $E = \left( \frac{6}{d} \right) \sqrt{P}$ ここで、Pは送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、dは、メートル (m) で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査によって決定する固定RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲における適合性レベルより低いことが望ましい。 次の記号を表示している機器の近傍では干渉が発生するかもしれない。
放射無線周波数電磁界 IEC 61000-4-3	電3V/m 80MHz z～ 2.7GHz z	電3V/m 80MHz z～ 2.7GHz z	



## RF無線通信機器からの近接電磁界に対する免疫

レルテックMD11は、放射RF妨害を管理している電磁環境内での使用を意図している。

レルテックMD11の顧客又は使用者は、レルテックMD11とRF無線通信機器との距離を30cm以上離れた状態で使用することが望ましい。

表9-RF無線通信機器に対する外装ポートイミュニティ試験仕様

試験周波数 (MHz)	帯域 <sup>a)</sup> (MHz)	通信サービス <sup>a)</sup>	変調 <sup>b)</sup>	最大電力 (w)	分離距離 (m)	イミュニティ試験レベル (V/m)
385	380~390	TETRA 400	パルス変調 <sup>b)</sup> 18Hz	1.8	0.3	27
450	430~470	GMRS460 FRS460	周波数変調 <sup>b)</sup> ±5kHz偏移 1kHz正弦波	2	0.3	28
710	704~787	LTE Band 13,17	パルス変調 <sup>b)</sup> 217Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800~960	GSM800/900 TETRA800 iDEN820 CDMA850 LTE Band 5	パルス変調 <sup>b)</sup> 18Hz	2	0.3	28
870						
930						
1500	1475.9~ 1510.9	LTE Band 11,22	パルス変調 <sup>b)</sup> 217Hz	0.25	0.3	10
1720	1700~1990	GSM1800 CDMA1900 GSM1900 DECT LTE Band 1,3,4,25 UMTS	パルス変調 <sup>b)</sup> 217Hz	2	0.3	28
1845						
1970						
2450	2400~2570	Bluetooth WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 <sup>b)</sup> 217Hz	2	0.3	28
3500	3400~ 3560	LTE Band 42	パルス変調 <sup>b)</sup> 217Hz	0.2	0.3	9
5240	5100~5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 <sup>b)</sup> 217Hz	0.2	0.3	9
5500						
5785						

注a) 幾つかのサービスでは、上り回線周波数だけを含む。 b) 搬送波は、デューティ比50%の方形波で変調する。  
c) 周波数変調の代わりに、18Hzでの50%パルス変調を使ってもよい。これは、実際の変調を表すわけではないが、最悪状態と考えられるからである。

## 保証書について

本製品には保証書が付いています。お受取りになった保証書は、記載内容及び「販売店名・購入日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

必要事項が記載されていない場合は、お買い求めの販売店にお申し付けください。

保証期間は、保証書に記載されています。また、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

## アフターサービスについて

本体に異常を感じた時は

修理を依頼される前に、26ページの「故障かなと思ったとき」をご覧ください。

それでも異常がある時は、ご使用を中止し、必ず電源コードのプラグを抜いてから、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## 保証期間中の修理、その他

- 保証書は、取扱説明書の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、無料修理させていただくことをお約束するものです。  
無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、商品に保証書を添えてお買い求めの販売店又はレルテック医療器㈱に依頼の上、持込または輸送してください。  
輸送する場合は、納入時の梱包材をご使用いただいで梱包願います。
- 保証期間中でも、次の場合には有料になります。
  - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
  - お買い求め後の落下、輸送などによる故障及び損傷
  - 保証書のご提示がない場合
  - 保証書にお買い求め年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられている場合
  - 不適切な消耗品、規定外の交換部品の使用による本製品の故障及び損傷
  - 消耗による消耗品等の交換（導子極板AC・BDを含む。）
  - 修理見積りを提示後、お客様のご都合により修理をキャンセルする場合
  - 修理依頼個所について弊社にて一連の検査の上、異常が確認が出来なかった場合
- 製品の耐用期間は7年です。

## 保証期間が過ぎた場合

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品は製造打切後、7年間保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼は、お買い求めの販売店またはレルテック医療器㈱にご連絡ください。

## 保証外

- 第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。

## レルテックMD11清掃、点検リスト

治療器を正常かつ安全に使用し、効能や効果を十分に維持するために下記の点検をしてください。  
異常がみられる場合は、ご使用を中止し、必ず電源コードのプラグを抜いてから、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

	項目	内容	備考
1回／月	本体清掃	外装にヒビ、割れ等がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
	電源コード ACアダプタ	電源コード、ACアダプタに裂傷、断線がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
		コンセントと電源コードプラグ間にほこりがないこと	電源コードのプラグを抜いてからほこりを取り除いてください。
1回／週	導子極板	導子極板に濡れや湿りがなく、乾燥していること	治療終了後はベルトを外し、各導子極板を離れた状態で自然乾燥させてください。
		導子極板ケーブルや導子極板（装着部）に破損、裂傷、断線、変形がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
		治療中、導子極板からビリビリとした電氣的刺激がないこと	
毎日	カバー、ベルト	清潔に保たれていること	汗等の成分が付着しますので、こまめに洗濯してください。
	エネルギーチェックによる点検	📖 23～24ページ参照	エネルギーチェック表示部に「OK」が表示されない場合は、お買い求めの販売店へご連絡をお願いします。

- ① 感電のおそれがありますので、お手入れのときは、電源コードのプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- ② お手入れするときは、ベンジンやシンナーなどを使用せず、柔らかい布等で乾拭きしてください。
- ③ 濡れている導子極板や湿っている導子極板は、ドライヤーやストーブなど高温で乾燥せず、自然乾燥してください。
- ④ 濡れた手で導子極板を触らないでください。

